



子どもの森づくり通信

(発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

JP子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2016年3月号)

〒144-0054 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomonono-mori.net> <mailto:info@kodomonono-mori.net>

「J P子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



やっと春めいてまいりました。

写真は、今年の5月、東北に帰る“どんぐり”の苗木です。

その日を心待ちにしているのでしょうか。

(目次)

1. JP子どもの森づくり運動2016年度の活動に向けて
2. 活動レポート
3. 事務局からのお知らせ
 - 新・どんぐり博士の育苗講座（2016年3月号）～“どんぐり”の植えつけ3～

■「J P子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の幼稚園・保育園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「J P子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運 営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力

(公社) 全国私立保育園連盟	(公社) 大谷保育協会
(公社) 国土緑化推進機構	NPO法人C・C・C富良野自然塾
(一社) 日本森林インストラクター協会	NPO法人自然体験活動推進協議会
NPO法人MORIMORI ネットワーク	(一社) 日本オート・キャンプ協会
(株) 実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部	保育環境研究所ギビングツリー



1. JP子どもの森づくり運動2016年度の活動に向けて

間もなく新しい年度となります。JP子どもの森づくり運動は、2016年度で活動9年目を迎えます。過ぎてしまえば、早く感じますが、その間、確実に“どんぐり”の木も、子どもたちも育ってくれています。それは、今月号でレポートをご紹介した「平和こども園」での活動の様に、植えた“どんぐり”の木に、もう次の世代の“どんぐり”がなる、そんな時間の経過なのです。これからも、「継続は力」をテーマに、子どもたちのより良き未来づくりのために、皆様と共に活動を継続してまいりたいと思います。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。以下、これからの活動の活性化に向けて、事務局からの提案です。

1) ブロック別体験講座、及び交流会等の開催

参加園への、より丁寧な活動サポートを実現するために、下記の内容で、ブロック単位の体験講座や参加園相互の交流会を開催します。活動の詳細については、その都度ご案内します。(ブロック分けについては、今後、変更もあり得ます。)

ブロック名	都道府県
北海道・東北	北海道 青森県 岩手県 山形県 秋田県 宮城県 福島県
関東・甲信越	東京都 群馬県 茨城県 栃木県 千葉県 神奈川県 埼玉県 山梨県 長野県 新潟県
東海・北陸	富山県 石川県 福井県 岐阜県 静岡県 三重県 愛知県
近畿	京都府 大阪府 和歌山県 兵庫県 奈良県 滋賀県
中国・四国	岡山県 広島県 島根県 鳥取県 山口県 愛媛県 香川県 高知県 徳島県
九州・沖縄	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 宮崎県 大分県 鹿児島県 沖縄県

2) ブロック別研修講座

①環境学習研修講座

幼児期・幼少期の子どもたちに、環境の心を育むことを目的とする「JP子どもの森づくり運動」の環境学習講座としての意義が、ますます高まっています。幼稚園・保育園でのより良い環境学習活動のためには、教師・保育士の高い環境意識が必要です。事務局では、下記の富良野自然塾ネットワークとのコラボレーションで、環境学習体験研修講座をブロック別に開催します。

対象ブロック	施設名	住所	運営
北海道・東北	富良野自然塾	北海道富良野市下御料	富良野自然塾
関東・甲信越	富良野自然塾・東京校	東京都立川市「国営昭和記念公園」	国営昭和記念公園
東海・北陸・近畿	京都自然塾	京都府宮津市「里海と星の見える丘公園」	京都府
中国・四国	今治自然塾	愛媛県今治市「しまなみアースランド」	今治市
九州・沖縄	北九州地球の道	福岡県北九州市「北九州市環境ミュージアム」	北九州市

②ブロック別防災研修講座の開催

防災活動の趣旨は、活動が目指す趣旨である自然と環境体験活動と深くリンクしています。

自然体験による「子ども本来の生きる力を育む」活動、そして環境学習による身の周りの自然環境への関心は、子どもたちの災害に対する危機センサー能力を高め、「生き残る力」を育みます。事務局では、「本当に子どもの命を守るために」をテーマに、防災プレーンである鎌田修広氏（消防庁防災アドバイザー）と共に、ブロック単位の防災講座を実施します。

2. 活動レポート

■福島県「田島保育園」植樹地を見守る活動

・日時：2015年11月6日（金） ・会場：弁天山（2012年植樹場所）

園バスに乗って弁天山に出発です。雪深いこの地で、今日は貴重な秋晴れに恵まれました。

すぐに訪れる冬を前に、お天気の神様から子どもたちへの最高のプレゼントに感謝しながら森に入りました。

まずは数百年の歴史がある山神様の神社へおまいりして、今日の活動で、けが無く安全に過ごせるようお願いしました。

次に、3年前のお兄さんお姉さんたちが植樹した木にご挨拶です。3年前に20本ほど植樹した内、半分ちょっとの10数本確認できました。温暖な地域なら、木は3年で2m程度に生長しますが、ここは、積雪は1mを超え、1年を通して冷涼なところなので、大きくても50～60cm程度でした。でも、地域の方の森林整備のおかげもあって、厳しい自然の中でも、ゆっくりですが確実に生長している木々を、子どもたちは「すごいなー」と感心して見つめていました。

その後は、森の中の音を聴いたり色をさがしたりと森を体感しながら、どんぐりやいろんな形と色の葉っぱと木の実をさがして集めました。もちろんその間に森でしかできない色々な遊びを沢山して、天気によすぎて汗もかいたけど、「やっぱり山って楽しいね」と感想を話し合いながら、帰りのバスへと向かいました。



■石川県「平和こども園」"どんぐり"を拾って植える活動 & 東北復興グリーンウェイブ

・日時：2015年11月13日（金） ・会場：自園駐車場、及び園庭 ・参加園児：たんぼぼ組（年少児）28人

前回の活動時に植えた（平成23年植樹）どんぐりが実をつけたため、そのどんぐりを用いて、しばらくお休みしていた活動を再開することとしました。今回はそれに加えて、事務局より「東北の"どんぐり"」を送っていただき、東北復興グリーンウェイブにも参加することとなりました。

前回の活動は、各年の年長児が「拾う」「育てる」「植える」という一連の活動を行いました。今回は年少児が今後2年間続けて関われるようにしました。どんぐりをポットに植えた子どもたちは、「大きくなるかな」「芽はいつ出るかな」と話しながら期待をしているようでした。その後、どんぐりを一粒ずつポットに植え、それをプランターに並べて入れ、今年園庭の中心部に植樹したケヤキの幼木を取り囲むようにして置きました。（by：日吉園長先生）



3. 事務局からのお知らせ

1) ユーチューブチャンネル「子森チャンネル」更新のお知らせ

JP子どもの森づくり運動の活動を動画で配信しておりますユーチューブチャンネル「子森チャンネル」が新企画に更新されました。新企画では昨年末に開催されました「エコプロダクツ2015」における“東北のどんぐりの手渡し会”をモチーフに、

①東北の“どんぐり”手渡し会を紹介する作品と②東北の“どんぐり”が拾われ、手渡され、植えられるまでのどんぐりの旅を紹介する作品をアップしました。是非、ご覧下さい。

* アドレス ⇒ <https://www.youtube.com/channel/UC8u4Ryh1Ey5iaWtoCK8vI8Q>

* ホームページからの視聴方法：JP子どもの森づくり運動ホームページ ⇒子森チャンネル&通信 ⇒子森チャンネル

* なお、活動の内容は、日本郵政グループのホームページでもご覧いただけます。

⇒ http://www.japanpost.jp/csr/case/movie/2016_001.html



2) 「アウトドアアデイジャパン東京」森の体験のご案内

JP子どもの森づくり運動では、今年も、4月9日（土）・10日（日）の両日で、代々木公園（東京都）にて開催される「アウトドアアデイジャパン東京」に出展します。同会場において、代々木の森をフィールドに、森育プログラム「森の色を探そう！」を開催します。現在、下記の内容で参加者を募集中です。

・日時：2016年4月9日(土)①11:00～ ②14:00～

・会場：代々木の森 ・募集人数：先着10名程度（職員、親子、園児のみ）

・参加費：無料 *雨天開催

・お問合せ：子森ネットまで。Tel:03-5755-3213 メール：info@kodomonono-mori.net

* 本プログラムは、アウトドアマガジン「ガルヴィ」とのコラボレーションで開催され、活動の内容が本誌にて紹介される予定です。



●新・どんぐり博士の育苗講座（2016年3月号）～どんぐりの植えつけ3（保存版）～
どんぐりの植えつけについての3回目です。今回で最後まで説明します。では早速、水で仕分けたどんぐりを土に植えつけましょう。どんぐり博士：河内和男（「子森ネット」森林インストラクター）



①植え付け用のくぼみを作る

まず、どんぐり植え付けるためのくぼみを作ります。ポリポットの場合には中心に1つ、プランターの場合には、等間隔になるよう、バランスに配慮してください。指で3cm程度深さ（大人の場合人差し指の第一関節より少し深い程度）で、“どんぐり”の長さより大きい直径のくぼみを作ります。

②くぼみの中に“どんぐり”を横にして植え付ける

次に、作ったくぼみの中に“どんぐり”を置きますが、この置き方が重要です。子どもと植え付ける場合、確認しながら進めて下さい。くぼみの中に“どんぐり”を横にして置きます。具体的に説明すると、“どんぐり”のとがった部分を頭、丸くざらざらした部分をおしりと考えると、頭とおしりが横になるように“どんぐり”を寝かせて置いて下さい。理由は、とがった頭から地下に向かっては根が、地上に向かっては芽を伸ばします。横になっていれば根と芽が素直に伸びる事ができます。

③土をかぶせて水を与える

横にして置いた“どんぐり”の上に、周りの土を優しくかけて、植え付けが完了です。その後、水を与えて全活動終了となります。その際、プランターやポットの水抜き用の穴から、水が流れ出るくらいにたっぷり水を与えてください。

以上、3ヶ月に分かれてしまいましたが、“どんぐり”の植え付けを通して説明しました。

この3回をあわせて保存していただき、毎年の活動の際の確認にご活用ください。